

作成日 2026 年 1 月 21 日
(最終更新日 20 年 月 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

課題名：先天欠損歯，萌出困難歯に対する自家歯牙移植および再植等に関する 検証

1. 研究の対象

2015 年 4 月～2025 年 3 月の 10 年間に当院で先天欠損歯に対して歯牙移植を受けた、もしくは萌出困難歯に対して再植や歯胚回転などの処置を受けられた方

2. 研究期間

研究実施許可日～2030 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始(予定)日： 2026 年 4 月 1 日

提供開始(予定)日： 2026 年 4 月 1 日

4. 研究目的

自家歯牙移植は抜歯窩が残存する箇所への移植が一般的です。先天欠損歯への移植は移植床を形成して移植をする必要があります。一般的な歯牙移植とは処置方法が異なります。また、萌出困難歯の場合、萌出困難歯を抜歯して新たな移植床を形成して移植を行うか、それとも萌出困難歯を抜歯して移植床を形成して再植するか、もしくは萌出方向に方向を変化させて自然萌出を待つか、歯胚を回転させて自然萌出を待つか、矯正的に歯冠露出させて歯牙けん引を行うかなど様々な方法があります。しかし、いずれの方法を選択すべきかなどについては検証されていません。本検討によって、それぞれの治療法の予後や合併症などを明らかにし、どのような治療方法の選択がよいかを明らかにすることが目的です。

5. 研究方法

対象は、手術施行された患者について診療録を元に後ろ向きに検討します。手術2年後に撮影したレントゲンを元に、移植歯および萌出困難歯の状態について評価を行います。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で用いる情報は、カルテ等の診療記録の調査から収集します。これらは自機関で保有している既存の情報で新たに情報を収集するために検査などは行いません。

- ・ カルテデータ：病院で保管・管理しているカルテ情報から、以下の情報を収集します。
年齢、生年月、性別、欠損部の部位、パノラマエックス線画像、治療方法、など

7. 外部への試料・情報の提供

該当なし

8. 研究組織

本学単独研究

9. 利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受け、たうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

11. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：筑波大学附属病院歯科口腔外科 担当 福澤 智
住所：茨城県つくば市天久保 2-1-1
連絡先：029-853-3870「平日9～17時」